

「びんごキッズラボ」にて「害虫のひみつとふしき スタンプラリー」を開催

11月15日（土）、エフピコアリーナふくやま（福山市総合体育館）にて開催された、体験型イベント「びんごキッズラボ」にブースを出展しました。

本イベントは、先端技術や科学体験を通じて子どもたちの知的好奇心を喚起し、将来の「（仮称）子ども未来館」整備への機運醸成を図ることを目的としています。アース製薬は福山市との包括連携協定に基づき、サイエンス分野のコンテンツとして協力しました。

当日は、当社研究部の浅井一秀と瀬島愛が講師となり、虫について学べる「害虫のひみつとふしき スタンプラリー」を実施しました。ブースには、ヒトスジシマカに加え、クロゴキブリ、チャバネゴキブリ、マダガスカルオオゴキブリなどの各種ゴキブリ、さらにムカデやマダニといった普段じっくり観察することのない生き物の生体を展示しました。また、当社が推進する「虫ケアステーション」の活動として、虫媒介感染症のリスクや、虫よけ剤の正しい使い方（塗りムラがないように塗り広げる等）についての啓発展示も行いました。多くの子どもたちがスタンプラリーに参加し、飼育室のバーチャル見学とリアルの両面から「虫博士」を目指して楽しく学ぶ機会となりました。

当社は2022年7月に福山市と包括連携協定を締結し、教育に関する取り組みを進めています。



福山市 中村福市長と